

**平成30年二級建築士試験及び木造建築士試験の「設計製図の試験」の合格者を決定
～二級建築士試験について5,997人の合格者、54.9%の合格率、
木造建築士試験について205人の合格者、64.9%の合格率～**

9月9日及び11月4日^{注1}に実施した二級建築士試験「設計製図の試験」について5,997人の合格者、10月14日に実施した木造建築士試験「設計製図の試験」について205人の合格者を決定しました。

標記試験は、建築士法第13条及び第15条の6の規定に基づき、全国47都道府県の指定試験機関である公益財団法人 建築技術教育普及センター（理事長 鈴木 眞生）が実施しています。

このたび、平成30年二級・木造建築士試験の「設計製図の試験」の合格者が、都道府県知事により決定され、12月6日の発表となりましたのでお知らせします。

合格者には合格通知書を送付し、不合格者には不合格の旨及び成績の通知をします。

合格者一覧表については、当センター支部、都道府県建築士会の事務所等に掲示するとともに、合格者の受験番号を当センターのホームページ（<https://www.jaic.or.jp/>）に掲載します。

「設計製図の試験」の合否判定基準は、(参考1)のとおりです。

	二級建築士試験		木造建築士試験	
	学科の試験	設計製図の試験	学科の試験	設計製図の試験
試験日	平成30年 7月1日(日)	平成30年 9月9日(日) 注1 11月4日(日)	平成30年 7月22日(日)	平成30年 10月14日(日)
試験会場	全国60会場	全国59会場	全国45会場	全国29会場
実受験者数	19,557人	10,920人 (うち、製図から3,976人)	544人	316人 (うち、製図から29人)
合格者数	7,366人	5,997人	312人	205人
合格率	37.7%	54.9%	57.4%	64.9%
最終	実受験者数 a	23,533人 注2	573人 注2	
	合格者数 b	5,997人	205人	
	合格率 b/a	25.5%	35.8%	

注1) 北海道平成30年二級建築士試験「設計製図の試験」（平成30年9月9日（日）実施予定）は、北海道胆振東部地震の影響により平成30年11月4日（日）に延期し、実施しました。

注2) 平成30年の「学科の試験」の実受験者数と「設計製図の試験」からの実受験者数(平成28年又は平成29年に実施した「学科の試験」の合格者のうち平成30年の「設計製図の試験」を受験した者)との合計です。

■参考資料

- (参考1) 平成30年「設計製図の試験」の合否判定基準等
- (参考2) 過去5年間の二級・木造建築士試験結果
- (参考3) 平成30年「設計製図の試験」合格者(全国)の主な属性
- (参考4) 平成30年二級・木造建築士試験の合格者の発表までの流れ等

【問合せ先】

公益財団法人 建築技術教育普及センター 試験部試験第二課「二級・木造建築士試験」担当
TEL: 03-6261-3310 (代表)

平成30年二級建築士試験
「設計製図の試験」の合否判定基準等について

1. 合否判定基準

二級建築士試験「設計製図の試験」は、「与えられた内容及び条件を充たす建築物を計画し、設計する知識及び技能について設計図書の作成を求めて行う。」ものであり、その合否判定における平成30年試験の「採点のポイント」、「採点結果の区分」及び「合格基準」は、次のとおりである。

設 計 課 題	「地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅 〔鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建て〕」
採点のポイント	<p>(1) 設計課題の特色に応じた計画</p> <p>①交流スペースの平面・動線計画*</p> <p>②カフェ部分と住宅部分との相互の動線計画</p> <p>(2) 計画一般(敷地の有効利用、配置計画、動線計画、設備計画、各室の計画等)</p> <p>(3) 構造に対する理解</p> <p>(4) 断面構成に関する知識</p> <p>(5) 要求図書の表現</p> <p>(6) 設計条件・要求図書に対する重大な不適合</p> <p>①鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建てでないもの</p> <p>②要求図書のうち図面が1面以上未完成</p> <p>③図面相互の重大な不整合(上下階の不整合等)</p> <p>④延べ面積条件が、「250㎡以上、300㎡以下」に適合していないもの</p> <p>⑤要求室のうち、次のいずれかの室が欠落又は設置階が違っているもの*</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1階：喫茶室、玄関ホール</p> <p>2階：居間(A)・食事室(A)・台所(A)(これら3室を1室又は2室にまとめてよい)、子夫婦寝室、子ども室</p> <p>3階：居間(B)・食事室(B)・台所(B)(これら3室を1室又は2室にまとめてよい)、親夫婦寝室</p> </div> <p>⑥著しく非常識な計画(階段の欠落等)</p> <p>*北海道 試験(11月4日実施)における採点のポイントについては、上記(1)①及び(6)⑤が異なり、次のとおりである。</p> <p>(1) ①イベントスペースの平面・動線計画</p> <p>(6) ⑤要求室のうち、次のいずれかの室が欠落又は設置階が違っているもの</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1階：喫茶室、イベントスペース、玄関ホール</p> <p>2階：居間・食事室・台所(これら3室を1室又は2室にまとめてよい)、親夫婦寝室</p> <p>3階：子夫婦寝室、子ども室(A)、子ども室(B)</p> </div>
採点結果の区分	<p>○採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。</p> <p>ランクⅠ：「知識及び技能」*を有するもの</p> <p>ランクⅡ：「知識及び技能」が不足しているもの</p> <p>ランクⅢ：「知識及び技能」が著しく不足しているもの</p> <p>ランクⅣ：設計条件・要求図書に対する重大な不適合に該当するもの</p> <p>※「知識及び技能」とは、二級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。</p> <p>○なお、採点の結果、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのそれぞれの割合は、次のとおりであった。</p> <p>ランクⅠ：54.9%、ランクⅡ：14.5%、ランクⅢ：24.2%、ランクⅣ：6.4%</p>
合格基準	採点結果における「ランクⅠ」を合格とする。

2. その他

試験問題及び標準解答例は、当センターホームページに掲載します。

平成30年木造建築士試験
「設計製図の試験」の合否判定基準等について

1. 合否判定基準

木造建築士試験「設計製図の試験」は、「与えられた内容及び条件を充たす建築物を計画し、設計する知識及び技能について設計図書の作成を求めて行う。」ものであり、その合否判定における平成30年試験の「採点のポイント」、「採点結果の区分」及び「合格基準」は、次のとおりである。

設 計 課 題	「専用住宅（木造2階建て）」
採点のポイント	<p>(1) 架構計画（平面計画に対応した柱、横架材、小屋組等の構成）</p> <p>(2) 耐震性に対する配慮</p> <p>(3) 木拾いに関する知識</p> <p>(4) ・ 柱杖に関する知識（柱杖図を選択した場合） ・ 矩計に関する知識（矩計図を選択した場合）</p> <p>(5) 要求図書の表現</p> <p>(6) 設計条件・要求図書に対する重大な不適合 ①要求図書のうち図面が1面以上未完成 ②図面相互の重大な不整合</p>
採点結果の区分	<p>○採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。 ランクⅠ：「知識及び技能」※を有するもの ランクⅡ：「知識及び技能」が不足しているもの ランクⅢ：「知識及び技能」が著しく不足しているもの ランクⅣ：設計条件・要求図書に対する重大な不適合に該当するもの</p> <p>※「知識及び技能」とは、木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。</p> <p>○なお、採点の結果、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのそれぞれの割合は、次のとおりであった。 ランクⅠ：64.9%、ランクⅡ：11.4%、ランクⅢ：19.0%、ランクⅣ：4.7%</p>
合 格 基 準	採点結果における「ランクⅠ」を合格とする。

2. その他

試験問題及び標準解答例は、当センターホームページに掲載します。

過去5年間の二級・木造建築士試験結果

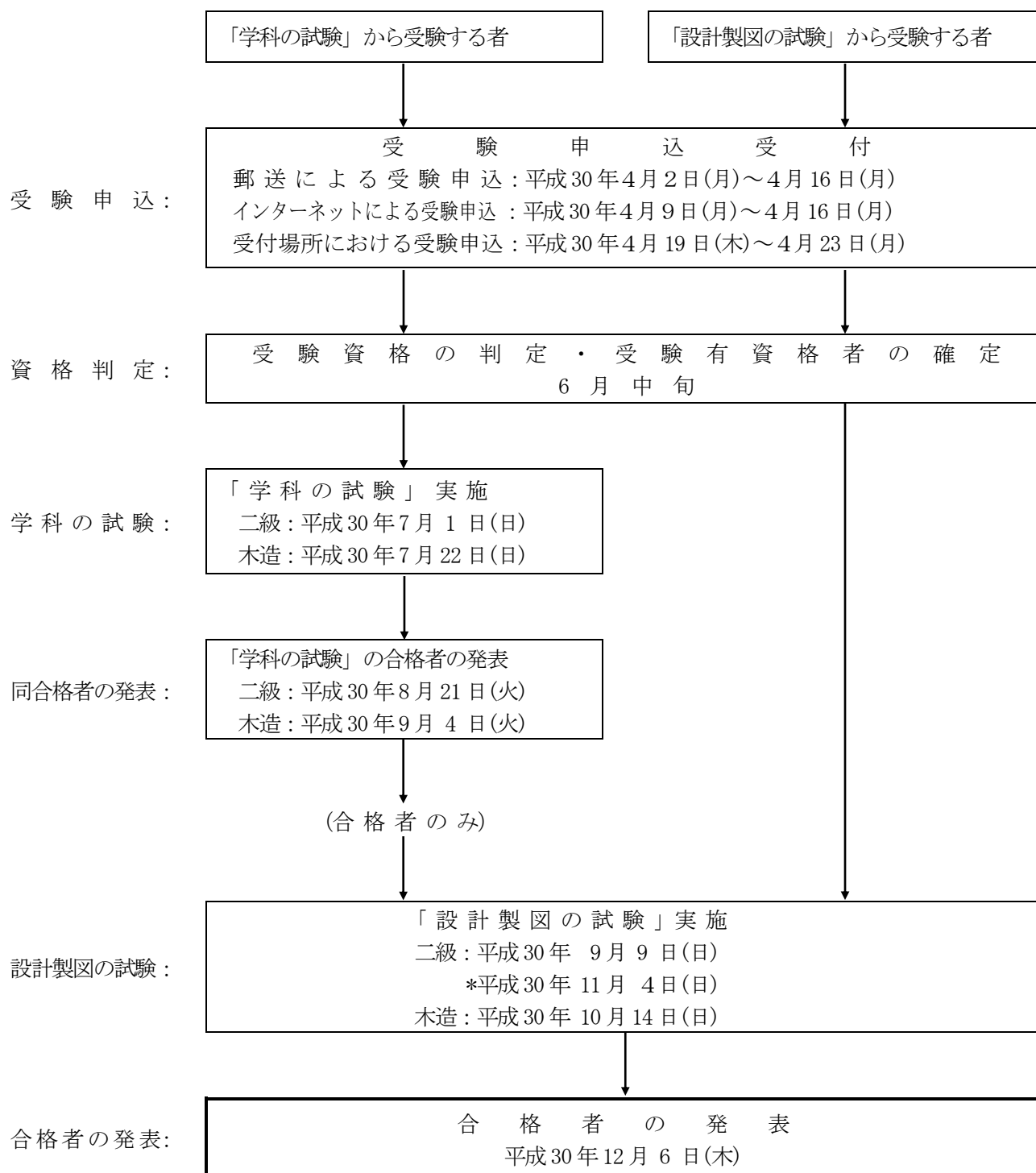
年 試験 実受験者数等		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
		学科	製図	学科	製図	学科	製図	学科	製図	学科	製図
二級	実受験者数(人)	21,251	9,185	20,788	10,573	19,940	9,456	20,057	11,159	19,649	10,837
	合格者数(人)	6,013	4,864	7,881	5,842	5,996	5,103	8,488	5,920	7,197	5,763
	合格率(%)	28.3	53.0	37.9	55.3	30.1	54.0	42.3	53.1	36.6	53.2
	最終合格率(%)	19.5		24.3		21.5		25.4		24.3	
	全体の実受験者数(人)	24,971		24,033		23,680		23,333		23,735	
木造	実受験者数(人)	568	307	492	310	519	301	495	351	545	325
	合格者数(人)	270	180	259	223	284	152	304	198	262	247
	合格率(%)	47.5	58.6	52.6	71.9	54.7	50.5	61.4	56.4	48.1	76.0
	最終合格率(%)	28.7		40.0		27.3		35.5		40.1	
	全体の実受験者数(人)	628		558		556		558		616	

平成30年「設計製図の試験」合格者(全国)の主な属性

主な属性	二級建築士試験 5,997人		木造建築士試験 205人	
	区分	構成比	区分	構成比
1. 受験資格別	学歴のみ	74.8%	学歴のみ	90.2%
	学歴+実務	9.2%	学歴+実務	3.9%
	実務のみ	15.5%	実務のみ	5.9%
	建築設備士のみ	0.5%		
2. 職域別	建設会社・工務店・大工	40.3%	学生・研究生	84.1%
	学生・研究生	16.1%	建設会社・工務店・大工	11.9%
	建築士事務所	14.3%	建築士事務所	1.5%
	プレハブ住宅会社	12.4%	官公庁等	0.5%
	その他、不動産業、官公庁等	16.9%	その他	2.0%
3. 職務内容別	建築設計	32.6%	学生・研究生	84.0%
	施工現場管理	19.8%	施工現場管理	4.5%
	学生・研究生	16.4%	技能労務(大工等)	3.5%
	工事監理	4.5%	建築設計	2.5%
	技能労務(大工等)	4.0%	工事監理	1.0%
	その他、営業、積算・見積等	22.7%	その他、営業、積算・見積等	4.5%
4. 男女別	男	64.8%	男	67.3%
	女	35.2%	女	32.7%
5. 年齢別	24才以下	53.7%	24才以下	81.0%
	25～29才	16.3%	25～29才	3.4%
	30才代	18.5%	30才代	4.4%
	40才代	9.4%	40才代	6.8%
	50才以上	2.1%	50才以上	4.4%
	平均	27.7才	平均	24.6才

平成30年二級・木造建築士試験の合格者の発表までの流れ等

1. 合格者の発表までの流れ



*北海道平成30年二級建築士試験「設計製図の試験」(平成30年9月9日(日)実施予定)は、北海道胆振東部地震の影響により平成30年11月4日(日)に延期し、実施しました。

2. 合格者の発表等

合格者には、合格通知書を送付します。

合格者一覧表と合否判定基準等については、当センター支部、都道府県建築士会の事務所等に掲示するとともに、合格者の受験番号を当センターのホームページ (<https://www.jaeic.or.jp/>) に掲載します。

3. 不合格者への通知

不合格者には、不合格の旨及び成績の通知をします。